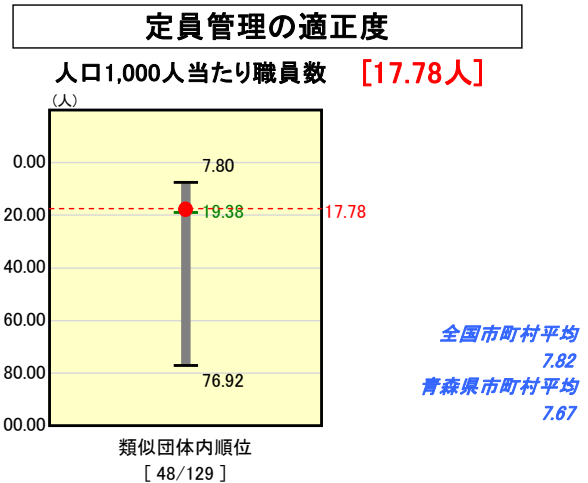
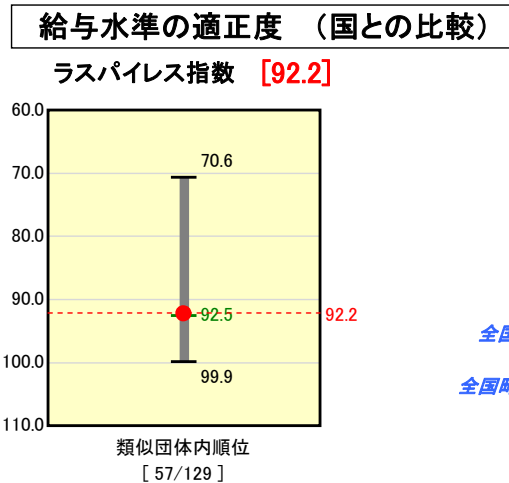
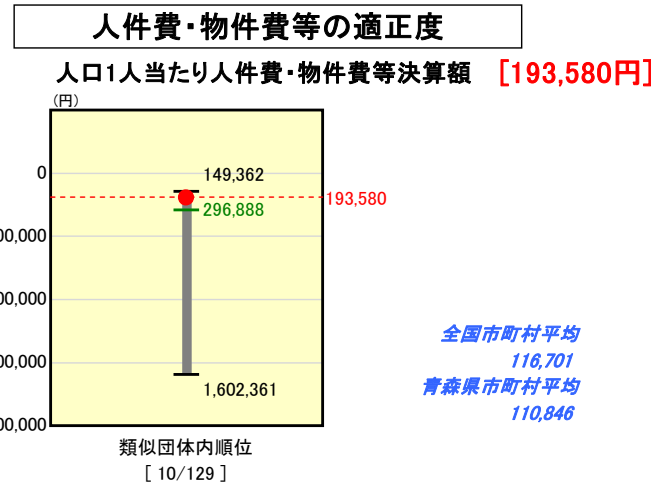
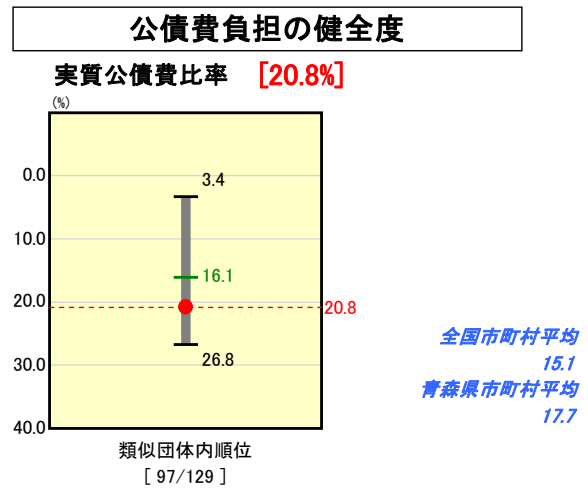
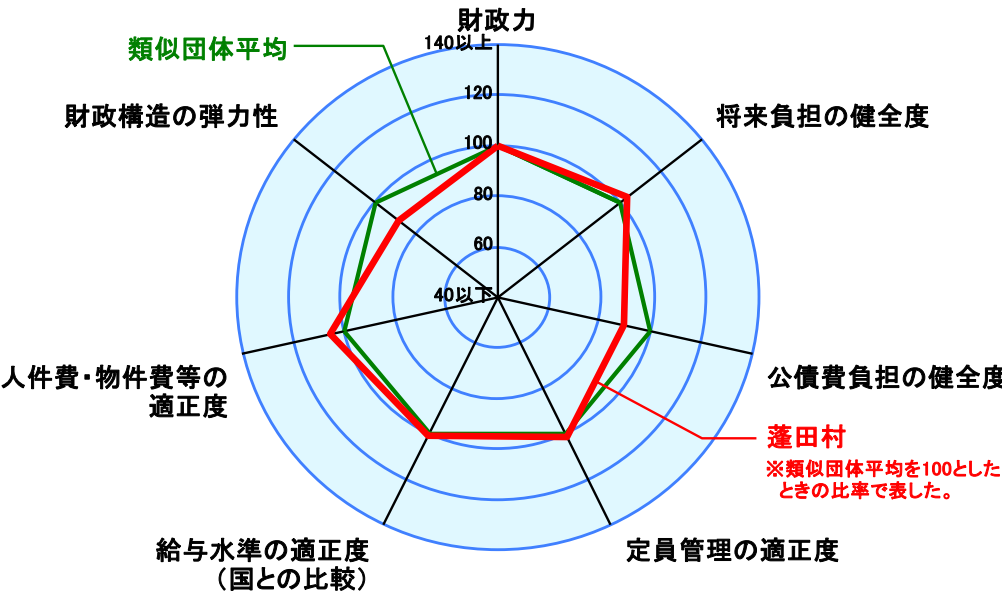
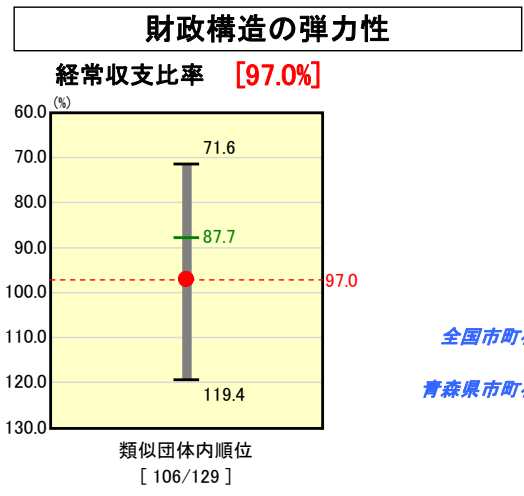
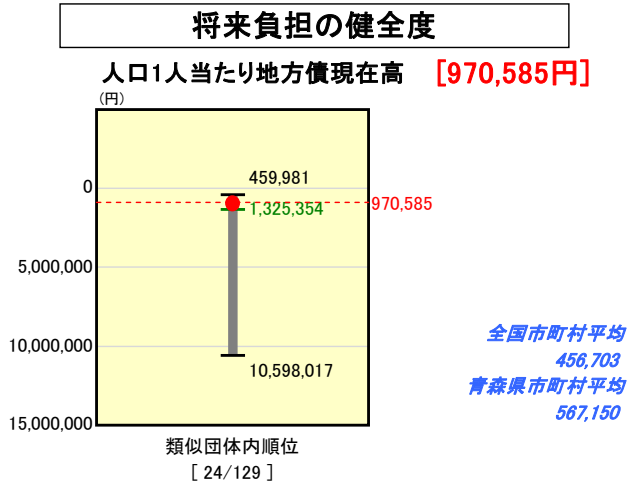
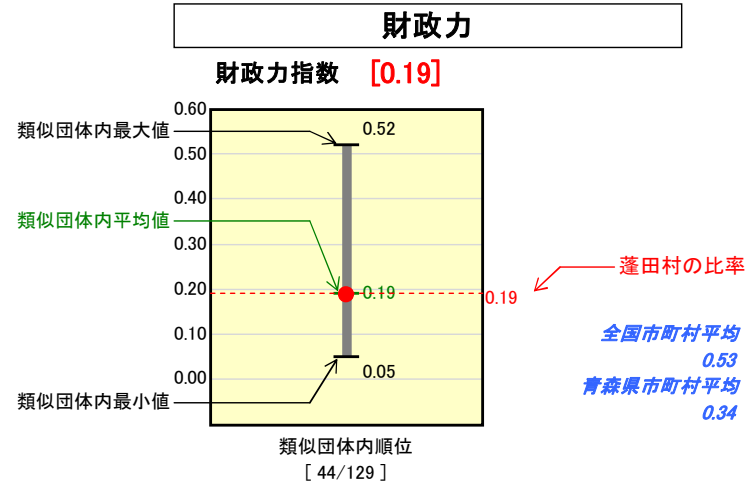


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 青森県 蓬田村

人口	3,431	人(H19.3.31現在)
面積	80.60	km <sup>2</sup>
歳入総額	2,139,258	千円
歳出総額	2,107,992	千円
実質収支	31,266	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
類似団体との比較では平均並の数値となっているが、人口の減少や高齢化による労働者人口の減少に加え、村の中心となる産業が農漁業であるため、収入が天候に左右されることが多く、安定した税収が難しいため財政基盤は脆弱である。退職不補充及び職員給与・手当削減(2～5%削減)等を継続し、更に投資的経費の削減等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに税の徴収等、歳入確保に努める。

**【経常収支比率】**  
当村の経常収支比率は97.0%であり類似団体と比較し9.3%と大きく上回っている。中でも人件費、公債費の占める割合が高くなっている。人件費については、退職不補充、職員給与・手当の削減、議員報酬の削減策等を今後も継続していく。公債費については平成22年度以降減少していくが、繰上償還に関しては財政状況を見て、繰上償還を検討していく。また、すべての事務事業について定期的に点検を行い、事務事業の廃止・縮小を進め、経常経費の抑制に努める。

**【ラスパイレズ指数】**  
平成16年度から実施している退職者不補充・職員給与削減(2～5%削減)により、ラスパイレズ指数は類似団体平均並となっている。今後も退職者不補充・職員給与削減を継続して実施していく。

**【実質公債費比率】**  
実質公債費比率は20.8%で類似団体と比較し、4.7ポイントと大きく上回っている。要因としては平成9年度～平成11年度実施のふるさと総合センター建設事業(事業費 830,000千円)、平成10年度実施のライスセンター建設事業(事業費 383,801千円)等の大型建設事業の元利償還が影響している。平成22年度以降は償還額が減少に転じるため、実質公債費比率も減少していくと考えられるが、今後も新規発行を抑制し、財政健全化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
現在類似団体平均を下回っているが、今後も新規発行を精査・抑制し、より一層の財政健全化及び将来負担の軽減に努める。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
類似団体平均を下回っている。今後も定員適正化計画を基に、少ない人数で効率的な行政運営を行っていくため、平成22年度までに11名(15.9%)の職員削減を目指す。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
類似団体との比較では平均を大きく下回っている。人件費についてはこれまで実施してきた退職不補充・職員給与の削減及び議員報酬の削減等の影響で年々減少傾向にある。物件費についても消耗品費の抑制や指定管理者制度の導入による委託料の削減が期待されるが、平成22年度、平成23年度にはふるさと総合センターの運営費の増加による影響が大きい。